

「県道西浦停車場線」  
(西浦町馬々・東一本)



1936年(昭和11年)三河鉄道が鳥羽一蒲郡線を開通し、西浦町馬々に西浦駅が開設されました。西浦町は半農半漁の町でしたが、1953年(昭和28年)温泉が発見されると「西浦温泉」として、この鉄道が多に貢献しました。

この地は馬々・馬々崎・南馬相・北馬相・南馬場・北馬場の字名が連なり、400年前の形原松平氏の馬場であったことを思わせませす。それが、鉄道開通、温泉振興で人家の密集する西浦の中心地に変身し賑わいました。

そして、県道東幡豆・蒲郡線に交わる約200mの西浦駅前通りが、地図上に「県道西浦停車場線」として表記されているのが興味深いところです。

私は蒲郡の辻をシリーズで描いていますが、今回は辻から1歩踏み込んで「県道西浦停車場線」の風景を描きました。中央の右奥が西浦駅、さらに北にガン封じで有名な無量寺があります。左の樹木の陰に覚性院と右に西浦郵便局がそれぞれ隠れています。



樹木医・技術士(建設部門・環境部門) 原野 幹 義

「旅ゆけば♪～駿河の国に♪～お茶の花・チャ」

朝夕の冷え込みが厳しくなったこの季節、葉の色がめっきり濃くなったお隣、駿河の国の茶畑ではひっそりと白い花が咲きます。仲間の椿や山茶花ほどの派手さはありませんが、白い花びらの中に、抱えきれないほどのクリーム色の雄しべとのコントラストが個性的な美しさです。訪れる人もなく、観賞されることもなく咲いています。



4月の新緑

驚くほど萌芽力が強いので、もとの緑の茶畑に戻れるのですけれど。

若い世代を中心にペットボトルのお茶ですませ、家ではお茶を煎れない人も増えていますが、ひと仕事終えて、煎れ立ての一杯をお煎餅や甘いお菓子といただくのは気分がいやされる至福の一時です。



6月の刈り込まれた茶畑

目次 Contents

市長マニフェスト あなたの評価は?	3-5
第10回「市長への手紙」から	6-7
シルバー派遣事業が始まります	8-9
人権週間	10
市民相談	11
MYスクール・図書館だより	12
まちの達人・読む水族館	13
遊びにおいでよ児童館へ	14
健康カレンダー	15
年末年始公共業務のご案内	16
お知らせ	17-29
クイズまちがいさがし	30
ふれあい宅配便	31
インターネット公売	32
こどもミュージアム	32